



様式第10号(第14条関係)

令和5年6月30日

持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕 400-6

団体名 とっとり県美応援団

代表者職・氏名 団長 佐伯 健二

年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- |          |         |         |
|----------|---------|---------|
| 1 寄附金受入額 | 令和4年度合計 | 80,000円 |
|----------|---------|---------|
- 2 添付書類
- (1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>
  - (2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>
  - (3) その他参考資料

様式第 10 号の 2 (第 14 条関係)

令和 4 年度寄附金活用実績報告書

事業名	鳥取県立美術館を成功させる応援サポーター (とっとり県美応援団)
実施期間	令和 4 年 6 月 1 5 日～令和 5 年 3 月 3 1 日
業内容 ※対象者の範囲や 人数、実施方法等を 具体的に記入。	<p>期間：令和 4 年 6 月～令和 5 年 3 月</p> <p>場所：鳥取県内および県外</p> <p>対象者：県内外の鳥取県立美術館の成功願うすべての人々</p> <p>事業の内容：応援団員約 1 0 0 人が「来館者対応」「環境」「後方支援」「広報」の 4 チームをもって、サポーターとしての力量アップ研修の開催や広報啓発活動など行う。</p>
事業実施によっ て達成したい 成果・効果	<p>応援団の会員は、現在はほとんどが県中部の住民。活動の広がり は県立美術館成功の必須条件である。しかし、まだまだ応援団の活動 が県民の中に浸透していない。ギフ鳥の寄附金を広報活動に使うこ とによって応援団活動を広め、仲間を増やすことによって県立美術 館を日本一の美術館にする。</p>

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

様式第10号の3 (第14条関係)

令和4年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区 分	金額 (円)	内 訳
支援寄附金	68,000	(第1回交付分)
支援寄附金	12,000	(第2回交付分)
自己資金	12,000	自己資金
収入 計	92,000	

【支出】

区 分	金額 (円)	内 訳
印刷費	7,849	ニュースレター2・3号、活動チラシ印刷代
消耗品費	17,802	発送用封筒代、インク代、コピー用紙、USB代
郵送代	12,580	ニュースレター郵送代
委託費	4,532	ホームページ年間維持管理
事務費・雑費	220	振込手数料
予備費	0	
繰越金	49,017	次年度繰越金
支出 計	92,000	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。